

## 牧野記念號を祝う

津村 重 舍

此の度牧野記念號の発刊に際し一言祝辭を述べさせていたゞきたいと思います。

想えば此の植物研究雑誌が、牧野先生の御指導により創刊されてから斯界の泰斗たる先生を始め寄稿家各位の並々ならぬ御努力に依つて本誌の声價はいよいよ確固たるものとなり、植物愛好者や斯学の研究者に多大の貢献をなして來た事は私の心ひそかに誇りとするところであります。

本年はあだかも牧野先生が米壽を御迎えになられましたので、特に牧野記念號と致しまして愛読者と共に先生及び本誌に心からの御祝を述べたいと思います。

先生は最近御健康が勝れぬ由でありますから、分類学の世界的權威としての先生には世界の学界の爲にも未だ未だ御指導御活躍を願わねばならないのであります。

何卒先生にはくれぐれも御自愛下さいます様衷心より御祈り申し上げます。

牧野記念號の発刊に際しまして、牧野先生の米壽を御祝い申し上げ、併せて先生の御健康を祈りつゝ本記念號の発刊に祝辭を述べさせていたゞく次第であります。

## 宮部金吾\*: アイヌ植物名に就いて

Kingo MIYABE \*\*: On some Ainu plant names.

アイヌ民族は、大古より極く近代に至るまで、其衣食住並に薬餌の資料の大部分を、山野に自生する草木類に求めていた。従つて、これらの植物の特性に精通し、又、其特性によつて夫々名前を附けていた。種類の多い属の植物、例へばスゲ、ヤナギの如き場合に於いても、其用途、産地、或は特性等に依つて、種類を識別して名前を附けてゐる。其觀察力の鋭さには、実に驚嘆に堪へないものがある。

私の今日まで集めた、北海道及び樺太産の植物の中、アイヌ名の附いている種類は、五百八十余种の多きに達している。一種の植物でも、用途の廣いものには、部落や地方によつて多くの異名を持つているものが尠くない。こゝには次の十四項目に従つて、摘出したアイヌ名に、簡単な解説を加えることとする。

## 1. 日本名の轉訛したもの、又はアイヌ名が東北地方方言として殘つたと思はれるもの

ミツバを Michipa と言ふ。ノビルを Membiro 又は Mempiru と言ふ。シホデを

\* 北海道大學農學部植物學教室。

\*\* Botanical Institute, Faculty of Agriculture, University of Hokkaido, Sapporo, Japan.